2人のスペシャリストを顧問に迎えました

より充実した医療体制に

長年の臨床経験を活かし、五省会の強みを伸ばしたい



西能病院 顧問 野田（のだ） 八嗣（やつぎ） 医師

専門：総合内科、消化器、肝臓

県立中央病院や済生会高岡病院にて院長を歴任され、ドクターヘリ導入、公立病院では北陸初となる特定集中治療室（スーパーICU）の整備など、県内の高度救急医療体制の発展に尽力されてきた野田八嗣医師を、4月より西能病院の顧問としてお迎えしました。

患者さん中心の医療を目指して

子どもの頃の夢はサッカー選手でしたが、知人の病気をきっかけに医師を志し、金沢大学医学部に進学。より多くの方の病に関わることができる内科医を選びました。卒業後は肝炎などの肝臓病を研究するため、第一内科の消化器肝臓内科を専攻。ひと昔前は治療が難しかった肝炎ですが、飲み薬の普及やワクチン接種等の予防医学発展により、多くの患者さんが治る時代となりました。そういった医学の進歩の過程に大いに関わってきました。

高い志があり医師になったわけではありませんが、長年の臨床経験から、病を診て人を見ずにはならないように心がけています。根拠ある医療は基本ですが、それぞれの患者さんの身体的・社会的状況も考慮しつつ診療していくことが重要だと思います。

広い視点で診療を行い貢献を

内科領域の専門性にとらわれず横断的に症状を診断・治療ができる「総合内科専門医」として患者さんに寄り添い、健康相談にのることで医療の間口を広げる役割を担えたらと考えています。

少子高齢社会においての地域医療は「医療機能の分化と連携」が大切です。一つの病院が全てを担うのではなく、強みを最大限に生かし医療の質を向上させる。当院は整形外科という分野を通じて、地域に大きく貢献しています。何か新しいことをしたいという思いよりは、五省会の良さと強みを活かせるよう少しでもお役に立ちたいと言うのが正直な思いです。患者さん本位の医療を大切にしていきます。

Profile 野田 八嗣 医師

昭和52年	3月	金沢大学医学部卒業
同年	4月	同大学（旧）第一内科入局
昭和58年	4月	ロンドン大学のキングスカレッジ病院 留学
昭和60年	10月	富山労災病院 内科副部長
平成14年	4月	富山県立中央病院内科部長
平成24年	4月	同病院院長
平成29年	4月	富山県済生会高岡病院院長
令和 4年	4月	西能病院 顧問

資格

医学博士
日本内科学会総合内科専門医
日本消化器学会専門医
日本肝臓学会専門医
労働衛生コンサルタント

趣味

サッカー観戦と海釣りです。釣った魚を魚屋にて調理していただき、刺身や煮魚、照り焼きなど様々な味わいを楽しむのが至福の時間です。



整形外科センター 西能クリニック

顧問 山田（やまだ） 均（ひとし） 医師

専門：脊椎脊髄病外科、関節外科、スポーツ障害

初代院長として10年、西能クリニックを守り続けてきた山田医師が、4月よりクリニック顧問に就任しました。地域の皆さまへの思いを伺いました。

患者さんの不安と向き合い適切な治療計画を提案したい

西能クリニックを初めて受診される方が毎月500名ほどいらっしゃいます。なぜ当院を選んでくださったのか、何を求めて来院されたのか、そうした背景因子を考慮しつつ適切な治療計画を立てています。

また、情報が氾濫する時代にあって、ご自身の症状に対してどんな治療が相応しいのか分からずに不安を感じている方が多いようです。そうした不安を取り除き、生活環境に見合った病気との上手な付き合い方について、患者さんと模索し前向きに人生を送っていただけるように対応していきたいと思っています。